図画工作科　年間指導計画例

第２学年　　　　　　　　　　　　　前期１８時間　　後期３０時間　　総時数　４８　時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 月 | 題材名【領域】 | 学習指導要領の内容 | 時数 |
| 知識及び技能の習得活用に関わる用具材料 | 思考力、判断力、表現力等 |
| 発想・構想に関わる指導配慮事項子どもが楽しく発想や構想をする基となる形や色など | 鑑賞に関わる指導配慮事項自分の見方や感じ方を広げるために子どもが考えること |
| 前期 |
| ６ | すきなことなあに【絵】 | クレヨンパス | すきなことから | 表したいこと表し方 | ４ |
| ７ | ギュッとしたいわたしのお友だち【立】 | はさみ、のり紙 | 「お友だち」の言葉から | 表したいこと表し方 | ４ |
| ＜夏休み＞ |
| ８９ | うつして見つけて【絵】 | ローラー、はさみカッターナイフ | 版を刷ることから | 表したいこと | ６ |
| １０ | くっつきマスコット【工】 | 紙粘土水彩絵の具 | 磁石の特性から | 表したいこと表し方 | ４ |
| 後期 |
| １０ | にじいろコレクション【遊】 | 水彩絵の具インクなど | できた色の感じから | 造形的な面白さや楽しさ | ２ |
| えのぐじま【絵・鑑】 | 水彩絵の具 | 「えのぐじま」などの言葉から | 表したいこと表し方 | ５ |
| １１ | コロコロ大さくせん！【工】 | 身辺材 | 材料など動きから | 表したいこと表し方 | ６ |
| １２ | ひみつのグアナゴ【立】 | 粘土 | 「グアナコ」の言葉から | 表したいこと表し方 | ２ |
| 切って、ひねって、つなげると【遊】 | 身辺材 | できた形から | 造形的な面白さや楽しさ表したいこと | ２ |
| ＜冬休み＞ |
| １ | キラキラシャボンでぼかしあそびで【絵】 | 水彩絵の具パス | 泡の形や色からぼかした形や色から | 造形的な面白さや楽しさ表したいこと表し方 | ４ |
| ２ | カッターナイフタワー【工・鑑】 | 紙、カッターのり、テープ | 紙を切った形や色から | 表したいこと表し方 | ６ |
| ３ | つづきえどんどん【絵】 | パス、カラーペン、テープ | 思いついた話から | 造形的な面白さや楽しさ表し方 | ３ |
| 標準時数　　　７０　　時間教育課程再編成２割５分減　　　５３　　時間（授業がある１０か月のうち４・５月と６月の半月の２カ月半を除き授業時数を計算） | ４８ |

**※いろいろな形や色、触った感じをとらえることなどに関わる知識や、自分のイメージをもつことに関わる思考力、判断力、表現力等の〔共通事項〕は、すべての題材に関わることして表記を省いている。**

**※絵、立体、工作の題材の配分をおおよそ等しくすること。**

**※造形遊びは、９月から、現状からすると１０月以降にすること。**

|  |
| --- |
| その他の教科書題材各校の実態に合わせて、入れ替えても可。 |
|  | ちきゅうからのおおくりもので【遊】 | 自然の材、木 | 材料や身近な場所（校庭）などから | 造形的な面白さや楽しさ表したいこと | ２ |
|  | どうぶつさんといっしょに【絵】 | クレヨンパス | 動物との思い出から | 表したいこと表し方 | ５ |
|  | あつめて、ならべて、いいかんじ【絵】 | 色紙 | 並べる、重ねる、組み合わせることから | 造形的な面白さや楽しさ | ４ |
|  | 形の「かくれんぼ」【絵】 | クレヨンパス | 切り取った形から | 表したいこと造形的な面白さや楽しさ | ２ |
|  | かぶってへんしん【工】 | 身辺材 | 変身してみたい姿から | 表したいこと造形的な面白さや楽しさ | ４ |
|  | どきどきカード【絵】 | クレヨン・パスはさみ・のり | 生活の中で感じたことから | 表したいこと表し方 | ２ |
|  | ピコリンせい　のゆめのステージ【工】 | 接着剤身辺材 | テーマや材料から | 表したいこと表し方 | ４ |
|  | 土って気もちがいい密をさけにくい材【遊】 | 土や砂 | 活動の場から | 造形的な面白さや楽しさ表したいこと | ２ |
|  |  |  |  |  |  |
|  |  |  |  |  |  |